

地方大学がたくさんの学生に 選ばれるような施策について

愛媛大学 社会共創学部 環境デザイン学科
近藤美咲



学びたい内容があつたから 将来の夢をかなえられそう

とにかく県外に出たかった

自分の行ける偏差値的にここだった

そもそも県外に出るという考えがなかった

愛媛大学を選んだ理由

自分が学びたいものがなかつた

国公立で入試内容が自分にあつていたから

自分の興味がある分野で中四国の中で一番規模が大きかつたから

もっと偏差値の高い大学を目指せたから

愛媛大学を選ばなかつた理由

01

愛媛大学に所属している学生の声

留学生との交流が多い

HPや広報の内容が外部から分かりにくい
賞や功績以外の活動も載せてほしい

学部によるけど、実習がもう少し多くてもいいかも

学生が地域に入り込みやすい

学部によるけど他学部との交流が欲しい

偏差値以外の他大学と比較できる
魅力が必要

地域に入り込みやすい地方大学だから
こその地域に入って学べるという強みを前面に出すべき

学部関係なく地域と一緒に活性化
PJ活動実施や地域に入り込みやすいから
こその活動開始したい

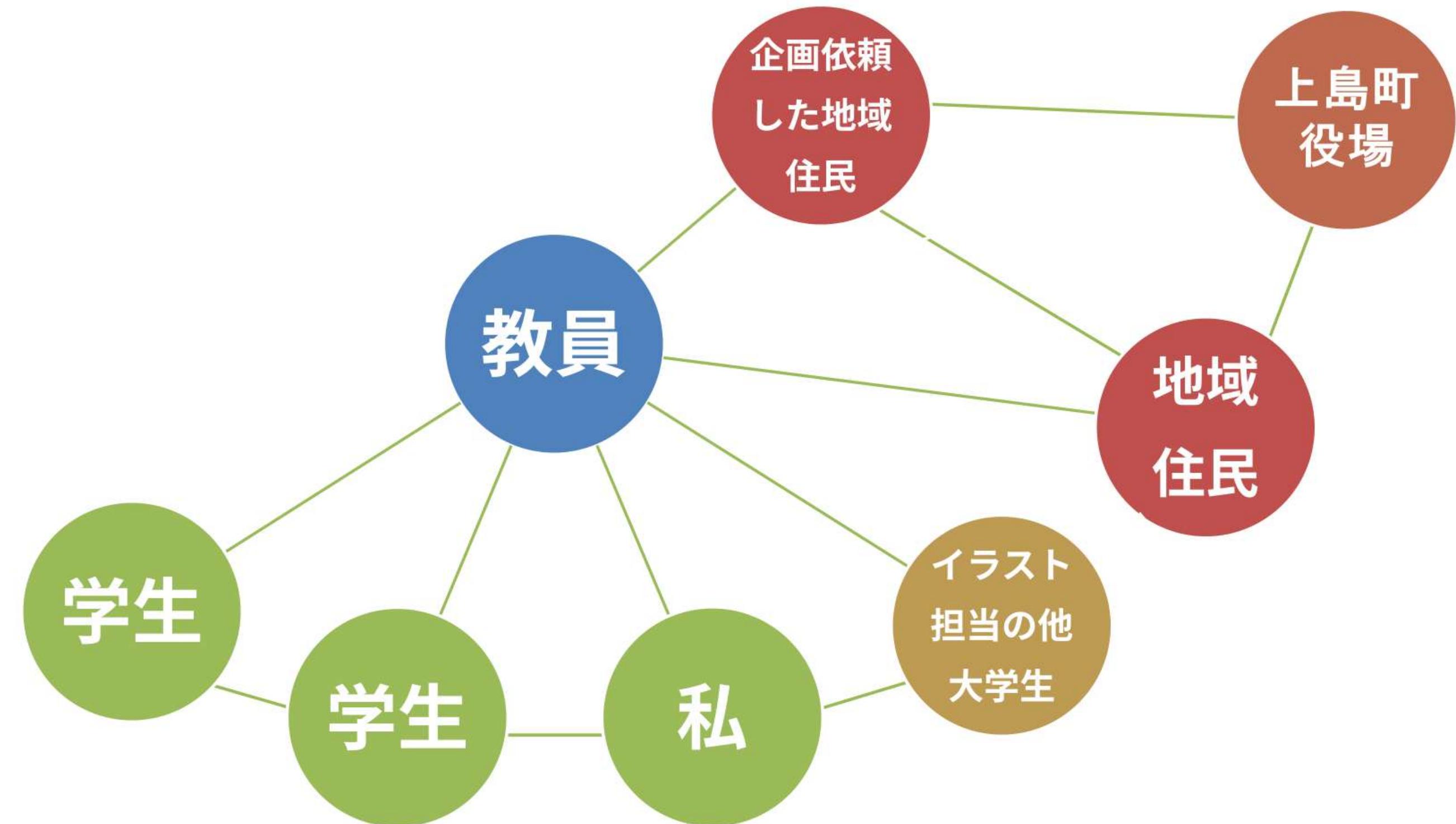
—— プラスな意見

—— マイナスな意見

愛媛県上島町 散走マップ作成

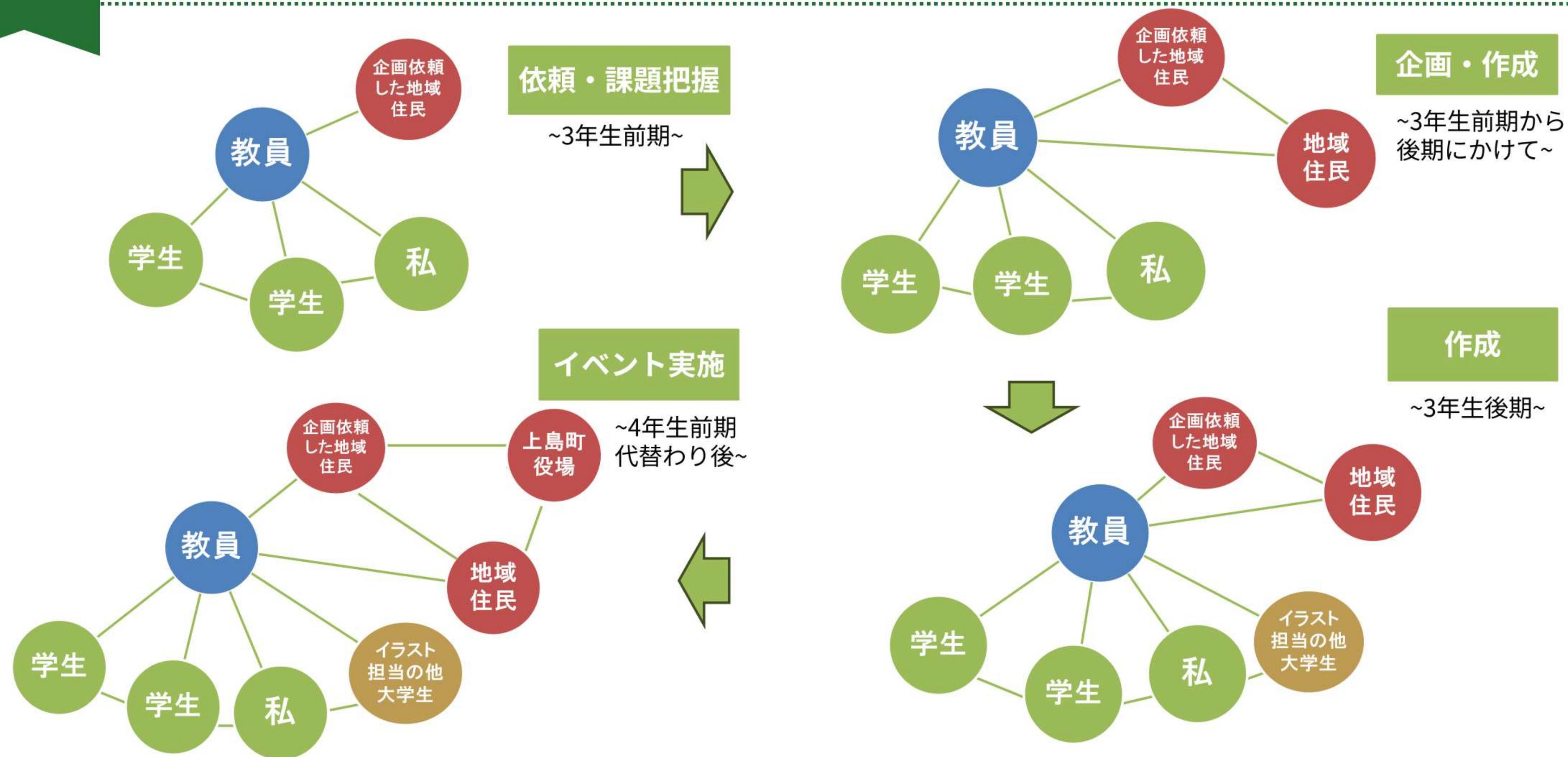
広島県と愛媛県にまたがる芸予諸島に
属する離島の上島町は人口約6000人の
しまなみ海道地域の一つ
ゆっくり上島町を見てもらって、個性
豊かな住民に出会い移住したくなるよ
うなマップを作成してほしいという思
いから企画開始





03

上島町PJの関係図の流れ



PJのメンバーはその地域に「縁」があること

- ・同じ地域に住む学生と地域の縁
- ・単に県外の学生を呼ぶだけではなく、その地域に何か「縁」がある、もしくはスキルがある人でないと地域との関与度が低いため、地域としてもチーム、その人自身も自身がそこにいる必要性が失われる

ステークホルダーと学生を繋ぐような役割が必要

- ・PJの進歩状況に応じて対応できる、人をマネージしていくようなスキルある人が必要
- ・そこには地域のステークホルダーと、学生と、それぞれ信頼関係を持っている人である必要がある

THANK YOU!

ご清聴ありがとうございました